



株式会社日本触媒

2012年3月期決算説明会



2012年5月9日



日本触媒



日本触媒

長期経営計画 「テクノアメニティ2015」 の進捗状況について



代表取締役社長
池田全徳

目次

1. テクノアメニティ2015
2. 業績の推移
3. 重要課題の進捗
4. CSR経営の推進
5. 利益還元

用語解説

SAP: 高吸水性樹脂

AA: アクリル酸

AES: アクリル酸エステル類

EO: 酸化エチレン

EG: エチレングリコール

NAII: エヌエイ・インダストリーズ Inc. 【米国】

NSE: ニッポンシヨクバイ・ヨーロッパN.V. 【ベルギー】

NSI: PT. ニッポンシヨクバイ・インドネシア 【インドネシア】

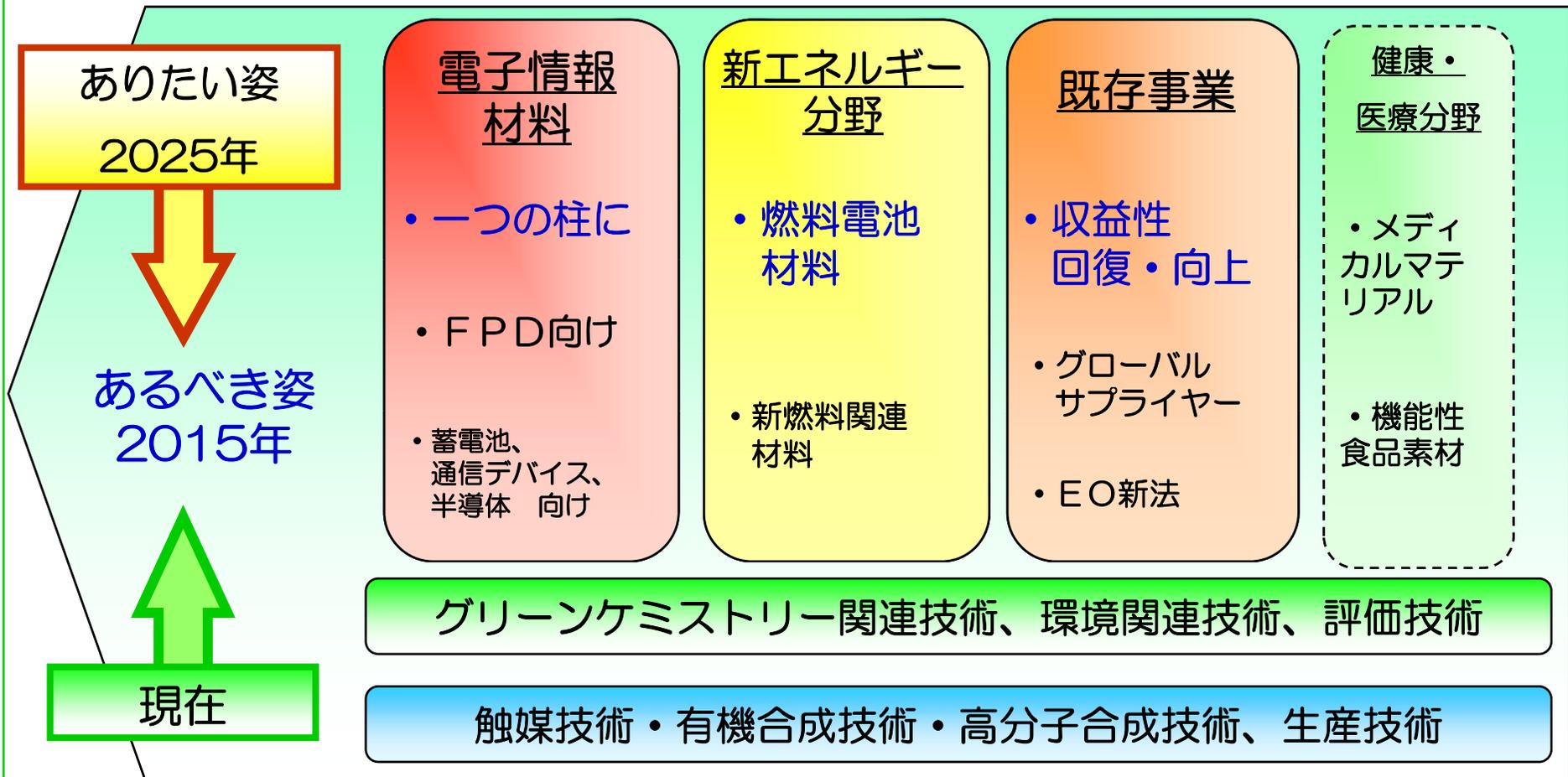
SAA: シンガポール・アクリリック Pte Ltd 【シンガポール】

SGA: シンガポール・グレースシャル・アクリリック Pte Ltd
【シンガポール】

NSC: 日触化工(張家港)有限公司 【中国】

1. テクノアメニティ2015 基本戦略

事業・技術ポートフォリオ



1. テクノアメニティ2015 基本戦略



人と組織の活性化

人材の開発 人員確保、経営・専門スキル、海外

活力ある組織風土の醸成 挑戦、壁払拭、理念浸透

組織力の強化 事業部強化、プロダクトマネージャー教育

グループ経営の明確化・国際化

2025年のビジョン

革新的な技術で新しい価値を創造する化学会社

1. テクノアメニティ2015 数値目標と重要課題



数値目標

	2012年度中計	2015年度長計
売上高	3,300億円	4,000億円
経常利益	220億円	300億円
ROA*)	6.3%	7.5%

*) 総資産経常利益率

基本コンセプトは引継ぎながら、計画値を2012年度中に見直す
2013年度から新しい後半3カ年計画スタート

重要課題

- ① コア事業（AA/SAP）の拡大
- ② 既存事業の収益改善
- ③ 新規事業の育成

2. 業績の推移 2011年度業績

	2010年度実績	2011年度実績
売上高	2,883億円	3,207億円
経常利益	309億円	331億円
ROA*)	9.7%	9.7%

*) 総資産経常利益率

過去最高益を更新

数値上2015年度利益目標を2期連続で上回る

- AES、EGの市況高継続
- 能力増強したAA、EO、SAPなどが高稼働維持
2010年10月稼働のSAP新設備は通年寄与
- 震災の影響は軽微
- 電子情報材料、新エネルギー材料は伸び悩み

2. 業績の推移 2012年度事業環境

厳しい事業環境

円高の継続→輸出競争力低下、国内需要の中期的縮小

中東情勢の不安定化→原料価格上昇

電力供給不安→コスト高、設備稼働制約

中国の金融引締、欧州債務問題→需要成長の鈍化

AES海外市況の平常化→スプレッド縮小

設備増強の踊り場（当社）

増産・拡販余力限定的→収益拡大を制限

明るい兆し

米国経済、中国インフラ建設、国内自動車に回復の兆し
新興国需要の底堅さ



2. 業績の推移 2012年度計画



	2011年度実績	2012年度計画
売上高	3,207億円	3,300億円
経常利益	331億円	280億円
ROA*)	9.7%	7.6%

*) 総資産経常利益率

	実績	前提条件
①為替レート	US\$ = 79円、EUR = 109円	US\$ = 80円、EUR = 100円
②国産ナフサ価格	54,900円/KL	60,000円/KL

増収減益

原料価格高騰、AA/AES市況下落 → **スプレッド悪化**

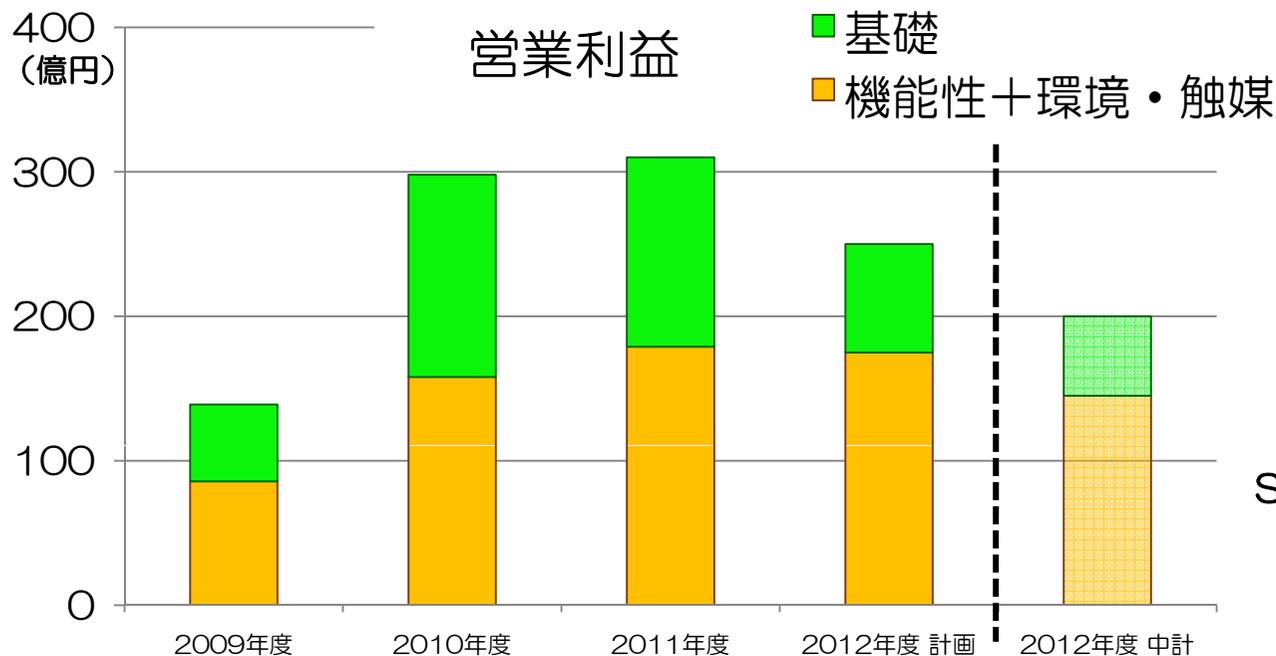
下期の数量増加を見込む

アクション

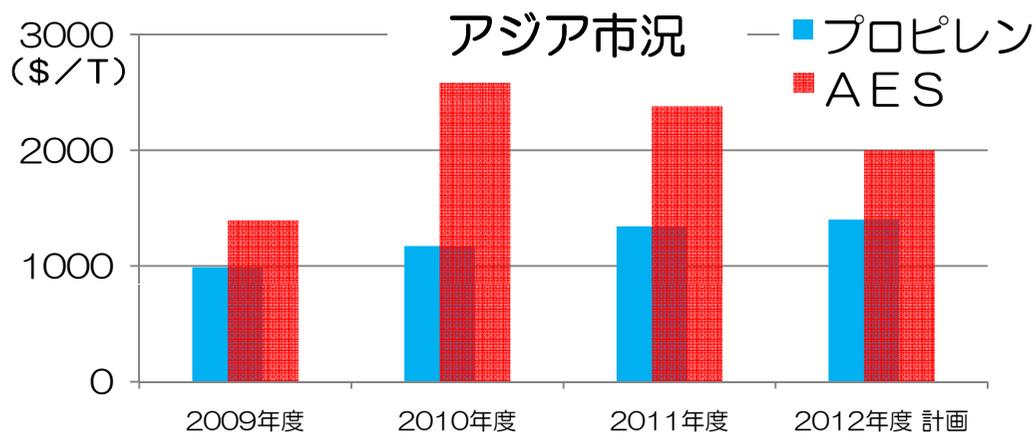
原料価格に対応した製品価格の修正

販売計画の達成

2. 業績の推移 2009~2012年度



機能性化学品
SAP拡大を中心に利益水準向上し
全体を底支え
SAP +6万トン 2010/10~



基礎化学品
スプレッドが縮小し
ても規模拡大により
利益創出力強化
EO +7万トン 2010/2~
AA +8万トン 2010/4~

3. 重要課題の進捗 ①コア事業の拡大



社名	国	場所	アクリル酸 (生産能力 万トン/年)			SAP (生産能力 万トン/年)		
			現在(2012年5月)	増設計画	商業運転	現在(2012年5月)	増設計画	商業運転
日本触媒	日本	姫路	46	8	2013年8月	32		
NAII	米国	テネシー				6	-6	2012年6月
	米国	テキサス	6				6	2012年6月
NSE	ベルギー	アントワープ				6		
NSI	インドネシア	チレゴン	6	8	2013年8月		9	2013年8月
SAA・SGA	シンガポール	シュロン島	4					
NSC	中国	張家港				3	3	2014年7月
	合計		62	16		47	12	
		計画完成後 合計		78			59	

2015年以降の増強

原料の安定確保、設備建設費、人件費など総合的に検討

3. 重要課題の進捗 ①コア事業の拡大



アクリル酸

需要：5%成長を想定

市場規模：410万トン（2011年推定）

増設：2012年 計画合計 62万トン（中、韓）

2011年 合計30万トン 【一部延期もあり当初予想を下回る】

戦略：SAPを支える生産量確保、市場の伸びを捉えた外販拡大

SAP

需要：7%成長を想定

市場規模：180万トン（2011年推定）

増設：2012年 計画合計 20万トン（日、米、欧、韓）

2011年 合計18万トン

見通し：2011年度後半、調整局面があったが中期的に需要は成長

戦略：強みを活かし、製品差別化でシェアを維持・拡大

3. 重要課題の進捗 ②既存事業の収益改善



収益改善委員会

コスト削減（省エネ、収率向上、プロセス改良、経費削減等）、
価格修正等により目標（※）達成へ注力 （※）2010年度予算比約60億円改善

誘導品の拡充

2012年	4月	コンクリート混和剤用ポリマー	16,000 トン/年	川崎
2012年	4月	洗剤ビルダー用ポリマー	2,500 トン/年	川崎
2013年	10月	（メタ）アクリル酸特殊エステル	20,000 トン/年	川崎

国内拠点の再編

吹田工場の溶剤系アクリル樹脂を他拠点へ生産移管（2012年度）
→ 吹田地区を研究開発センターに

3. 重要課題の進捗 ③新規事業の育成

電子情報材料

FPD（フラットパネルディスプレイ）材料

■ 光学材料用アクリル樹脂 “アクリビュア®”

樹脂：高機能化推進

フィルム：2012年度出荷予定

■ カラーフィルター用レジストポリマー “アクリキュアー®”

物性に優位性があり、高機能品を上市

製品開発の精度と
スピードの向上を図る

2012年度後半の
需要回復を見込む

新エネルギー材料

燃料電池用ジルコニアシート・セル

生産設備

300万枚／年体制からさらに拡大へ

製品大型化に対応したプラントの改造

売上高目標

2015年度 50億円

Bloom Energy（米）社向けを中心に販売を拡大



3. 重要課題の進捗 ③新規事業の育成

電池材料

リチウムイオン電池材料

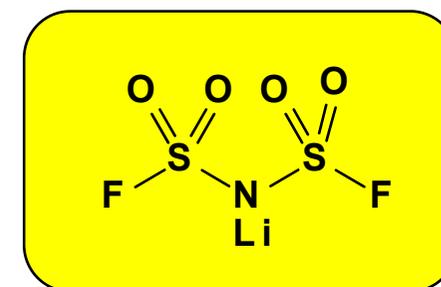
■ リチウムビスフルオロスルホニルイミド (LiFSI)

特徴 電池の長寿命化、安全性向上に効果大

強み **独自触媒による新合成技術**を確立し、
高純度品を安価に量産可能（世界初）

生産設備 2013年に年産数百トン級の生産能力確保

売上高目標 **2015年度 20億円**



■ 固体電解質ポリマー（ICP：イオンコンダクティブポリマー）

2012年 プラント稼働、出荷開始

4. CSR経営の推進

防災投資

全社で、地震・津波に対する安全対策を実施

姫路：護岸設備・生産設備地震対策

川崎：生産設備地震対策

本社：データセンター二重化

安全とBCPを強化

環境投資

姫路および川崎：廃液燃焼設備建設

DBJ格付

日本政策投資銀行（DBJ）の環境格付および防災格付で

化学メーカー初の最高ランク同時受彰

→ 低利資金を調達し上記投資を実施



5. 利益還元 基本姿勢と配当



事業拡大や企業体質強化等を総合的に勘案しつつ、
連結業績動向を見通し、中長期的水準向上を目指す

コア事業への積極投資 → 内部留保を厚く

2011年度配当
当期純利益 213億円
22円/株

円/株	中間	期末	合計
普通配当	11	11	22

2012年度配当（予想）
当期純利益195億円
22円/株

円/株	中間	期末	合計
普通配当	11	11	22

%	2006-12年度 7カ年平均	2008-12年度 5カ年平均
平均配当性向	26.3	27.7
平均総還元率	37.4	30.8

おことわり



本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 I R・広報室

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7477

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>